第459空輸中隊、沼津海岸で初着陸訓練

Numazu Beach Landing, a 459th AS first

February 19, 2021

By Airman 1st Class Tyrone Thomas
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真１）２月１８日、沼津海岸上空を初飛行する第４５９空輸中隊飛行安全担当官ホセ・サハガン・フローレス大尉（左）とアンドルーズ統合基地第３１６運用支援中隊訓練官ニック・カレン少佐(右)。飛行中、パイロットたちはさまざまなシナリオに基づいて水上および陸上訓練を行った。

1

（写真２）沼津海岸で初めての着陸訓練を行う第４５９空輸中隊所属の２機のUH-1Nヘリコプター。沼津海岸の独特な岩や砂の多い地表合わせた飛行・着陸技法が用いられた。

2

（写真３）初の沼津海岸での着陸訓練を計画する第４５９空輸中隊の空兵たち。作戦を成功に導くため、すべての情報を事前にリハーサルした。

第４５９空輸中隊は、沼津沿岸部での飛行および着陸訓練を行うことで、多面的な避難能力を向上させることができた。

3